



# 青年委員会だより



平成 16 年 11 月 1 日 (第 57 号)

(社) 青森県建築士会青森支部青年委員会

## 【報告】全国大会和歌山大会

～台風と地震の間に行ってきました～

10月21日朝、出発直前まで青森空港は台風で飛行機が飛ぶかどうか危ういところであったが、どうにか離陸、伊丹空港へ到着。県内各支部からの総勢27名の一行の旅が始まった。

まずは、京都「角屋もてなしの文化美術館」、お次は「新撰組壬生屯所(八木邸)」へ、かなり混雑していて30分程待たされたあと中へ、案内人が説明中、疲れたのでしょうか、縁側で靴下を脱いで「くつろぐ」方、居眠りして鼻をならしている方、(うー苦しい、笑えない)案内人、こちらを見ながら微笑んでいる。

「清水寺」紅葉にはまだ早いが、修学旅行生で混雑。お子ちゃま達に負けじと賽銭を投げまくり、気づけば小銭貧乏。「ご利益はあるのかい!」とブツブツと言いつつ京都ロイヤルホテルに到着!皆様、京都の夜はいかがでしたか。「祇園の夜は?」お口元が緩んでおりますよ。

明けて22日朝、鴨川岸を散歩中、事件の代わりに「サギ」発見、ちなみに鳥です。詐欺ではありません。(サスペンス大好きです)「風情があるわねー。」とか言いながら自己満足。

この日は、大会式典だけなので、昼過ぎに会議等で先発していた会長方々と合流。式典も無事終了。出展ブースで梅干をもう嫌というぐらい試食して、午後4時前には会場を後に、一路バスにて関西空港方面へ出発。

居眠りしつつボーッとしていると、2台前の車がスピン、急ブレーキで、あわやの「事故」にかなり動揺しましたが、当方には何事もなく、無事全日空港タワーホテルへ到着。この周辺には残念なが

ら目ぼしいお出掛けスポットがないとのこと。携帯も高層ビル群のためうまくつながらず、各自で最後の夜を楽しんでいらしたみたいです。

23日最終日、本来ならばフェリーで淡路島へ行く予定で組まれていましたが、台風22,23号の影響で行っても戻ってこれるかどうか交通事情が不明とのこと。・・・てなことで行き先を神戸に変更。目的は「震災」。メリケンパークに残されている9年前の災害後を見ながら、被害の大きさを再確認。



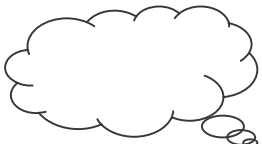
その後、復興の町並を散策するグループと「阪神・淡路大地震記念 人と防災未来センター」を見学するグループに分かれ、各自が神戸について学んだ・・・ということにしよう。

午後は空港へ向かう途中、もう1ヶ所「白鶴酒造」に寄ったのが運のツキ、限定品に弱い心理を上手に操られ、財布の口も緩みっぱなし。他人事ではない、「あっ、私もだ!」

何だかんだで、晴天に恵まれ、事故もよけてくれて、無事17時45分青森着。気温差にめげそうになりながら家に着くと、テレビからは「新潟中越地震」の速報が流れていた。

(火曜サスの女)





## 同期会に出席して…

今年は、大学を卒業して丁度 20 年目にあたるのだそうだ。偶然その講師に着任している友人から同期会の案内をもらった。関東までの飛行機の往復だけでも 5 万はかかるのだが、当時の担任が今年定年退職 だということもあり、重い腰を持ち上げ、行って見ることにした。

20 年振りに訪れたキャンパスは当時の面影を残していたが、街路樹は既に一抱えもできないほど幹が太くなっていた。まだ新しかった校舎もかなり老朽化が進んで、内部には雨漏りの痕も見受けられた。学生寮は、こんな所に学生が未だに住んでいるのかという程凄まじいものだったが、沢山の部屋の窓からパイプでつながれているクーラーの室外機を見るにつけ、時代は変わったものだと痛感した。

友人達も皆すっかり変わっているだろうなと思っていたが、驚いたことに見てくれだけは、殆んど昔のままだった。中学の同窓会では、「この人誰？」というのはザラだったが、そういう人は皆無なのが逆に可笑しかった。

しかし、お互い中身はかなり変わっているようだった。美術学部でも前身が教育大学だったので、流石に教員が多かったが、中には月数十冊もの本の装丁を手がけるグラフィックデザイナー、美術館や博物館のキュレーター、某自動車メーカーのデザイナー、中には自由に旅をする時間が欲しいと、フリーターをしている者もいる。参加できなかった 誰々とは、ニースですれ違ったとか、あの人はノルウェーで永住権を取得して世界中を回っているとか、ど田舎に住んでいる私には理解不可能なレベルである。

それでも、昔の話を始めると、皆すっかり学生に戻っている。折りしも、今年多くの地方に多大な被害をもたらした、かの台風 22 号が接近している真っ只中で、そのパワーに匹敵するような盛り上がりを見せた宴だった。

翌日、二日酔いの頭と擦れてしまった 声を土産に家に帰り着いた頃には、体はもうクタクタ ↗

↓ だったが、なぜか心には力がみなぎっている気がした。来年またやろうという話が持ち上がったら、即座に「参加しませす！」という返事を出してしまいたいそうである。(JK)

### お知らせ

支部協力会に以下の方が入会されました。

**ワタナベサービス株式会社**  
 青森市長島 2 丁目 18 番 5 号  
 TEL: 017-777-1388  
 FAX: 017-735-5982

支部活動に御協力いただきありがとうございます。  
 (平成 16 年 11 月 1 日現在:55 社)

## 青年委員会忘年会のご案内

今年度の青年委員会忘年会は支部役員と合同で開催します。

当日は、18:00 より同会場にて支部役員会、その後支部懇親会(支部役員 & 青年委員会合同忘年会)となります。

日 時 平成 16 年 11 月 19 日 (金) 19:00~  
場 所 「つかさ」

青森市本町5-7-17 TEL: 01722-2181

会 費 2,000 円 (当日徴収)

締 切 平成14年11月15日 (月)

連絡先 青森支部事務局まで TEL: 773-2878  
FAX: 723-7105

E-Mail : receipt@aaba.gr.jp

※FAX で送信の場合は、下記フォーマットをご利用ください。

## 青年委員会 & 支部役員合同忘年会 11 月 19 日 (金)

( 出席 ・ 欠席 ) どちらかに○をつけてください

氏名

TEL